

本時のねらい

○オクリンクに送られた進め方カードをもとに、12月の掲示物を作成することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- 12月の掲示を大型提示装置に写し、作り方の説明を聞くことで共通理解を図ることができる。
- それぞれのタブレットに送った進め方のカードを見ながら、順番に従って、掲示物を作ることができる。
- 出来上がった自分の作品を大型提示装置に写し、発表することができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ミライシード（オクリンク）
- ・大型提示装置

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○前時に取り組んだ「12月に貼りたい掲示物は？」の結果をオクリンクで確認する。【写真1】 ○これから作る12月の掲示について説明を聞く。 ○課題をつかむ。 「進め方のカードを見ながら、クリスマスツリーを作成しよう。」	○本時まで、オクリンクに課題を送らせて全体の意見を集約しておくことで全体の意見を集約でき、子どもの声からテーマを作りやすくなる。 ○大型提示装置で出来上がりの掲示物を見る。 ○大型提示装置で進め方の説明をし、共通理解を図る。
展開 (25分)	○送られたカードを確認する。 ○カードの順番に沿って作業を進める。【写真2】 ①画用紙を取りに行く。 ②材料を取りに行く。 ③使いたい材料に色を塗る。(ツリーのかざりの部分) ④画用紙に材料を貼り付ける。(ツリーのかざりの部分) ⑤近くの教員に声をかける。 ⑥自分のサインを書く。 ⑦飾りつけや絵を描き足す。	○送られたカードと一緒に確認する。(個人差への配慮) ○自分のiPadでオクリンクに貼り付けてあるカードを①から順番に開いていき、カードの指示に従って製作していくようにする。 ○オクリンクに進め方のカードを送っておくことで、それぞれに合ったペースで学習を進めることができる。
まとめ (10分)	○作品カード(作品の写真、頑張ったこと、次に頑張りたいことなどを書く)をオクリンクで提出する。 ○友だちの前で自分の作った作品を発表する。【写真3】	○自分が頑張ったところ、次に頑張りたいところを振り返らせる。 ○大型提示装置に映して発表させる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：12月に貼りたい掲示物のアンケート結果を全体で確認している場面



写真2：送られたカードの順番に沿って作業を進めている場面



写真3：友だちの前で自分の作った作品を発表している場面。

児童生徒の反応や変容

- テーマを「クラスの掲示物」としたことにより、作品を作る意欲が高まっていたのを感じた。
- 誰でも簡単に作品を作ることができ、図工が苦手な児童でもアイデアを出しながら活動でき、誰もが作品作りに関わることができた。
- 簡単にできる活動なので、後日、他の材料(折り紙など)も貼ってみたいという児童もいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 前時の終わりに本時の導入につながる活動しておくことで、全体の意見集約を事前に行うことができ、子どもの声からテーマを作りやすくなる。また、1時間の中で多くの活動時間を確保することができる。
- 制作の手順をカードにしておくことで、特性に合わせて自分のペースで作業がしやすくなる。
- 発表するワークシートをオクリンクで提出することで、それを見ながら、発表することができる。